

この「広報ひこね」は47,850部作成し、1部当たりの単価は7円(1円未満切り捨て)です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

連載企画Ⅰ発見彦根の文化財第7回Ⅰ 彦根城と城下町の模型・CGを公開中

現在、重要文化財である佐和口多聞櫓で、彦根城と城下町の模型とCG(コンピュータグラフィックス)を平成22年3月24日(水)まで公開しています。これは、井伊直弼と開国150年祭の関連事業で、(財)教育委員会文化財部が協力して制作しました。

彦根城の模型は、これまで太鼓門櫓に展示してあった模型をリニューアルしました。これまでの模型は主に内堀より内側を立体的に表現し、内堀と中堀は線で表現していました。そこで、今回は、これまでの立体部分をきれいにするとともに間違っている部分や痛みのある箇所を一つひとつチェックして改めました。その上で、中堀より内側をすべて立体的に表現しました。当時の絵図や古写真などを参考に、今日分かっている情報を最大限、模型に反映しました。縮尺はすべて300分の1に統一しました。城下町の町なみのなかに彦根山がひときわ高くそびえ、天守を頂点に櫓や塀が複雑に入り組んだ様子を、ケース越しに鳥瞰的にご覧いただくことができます。

また、足元には同じ縮尺で彦根の城下町をすべて平面で表現しました。武家屋敷を赤に、町人の屋敷を黄色に色分けし、すべての町名を表記しています。皆さんは歩きながら、300分の1の城下町の世界を探索することが出来ます。

さらに城下町のイメージを広げるために、CGをご覧になりながら城下町の町なみを疑似体験していただくことにしましょう。CGは50型の迫力ある大画面。「佐和口」「魚屋町」「善利組足軽屋敷」「七曲り仏壇街」「松原湊」の5つの異なる江戸時代の情景を、最新のタッチパネルを使って自由に動き回ることが出来ます。

「佐和口」は中堀に開く彦根城の正面。「魚屋町」は築城当初に魚屋を集住させた町なみ。「善利組足軽屋敷」は江戸時代前期に設けられた善利組の足軽屋敷群。「七曲り仏壇街」は彦根仏壇の伝統が息づく曲折の多い町なみ。そして「松原湊」は彦根城下への物資輸送の拠点であった湊でした。いずれも江戸時代の情景が今でも比較的良く残って

います。

彦根は、城とともに城下町の町割りや江戸時代以来の建物が数多く残っており、町全体が貴重な文化財となっています。模型やCGを堪能した後、実際の彦根城や城下町を散策していただくのも良いでしょう。きつと新しい発見があるはずですよ。

問い合わせ先 (財)教育委員会
文化財課 ☎26-58833
番、FAX 26-58899
番、Eメール: bunkazai@mx.hikone.ed.jp



佐和口多聞櫓で開催中の「彦根城と城下町の模型」の展示

旧池田屋敷長屋門の発掘調査現地説明会を開催します

(財)教育委員会文化財課では、彦根市指定文化財に指定されている中級武家屋敷の長屋門である「旧池田屋敷長屋門」の保存修理に伴う発掘調査を実施しました。

その結果、改修前の建物の痕跡を確認することができました。特に「馬屋」と名が伝わっている部分で、実際に馬屋跡と考えられる漆喰タタキの痕跡が見つかっています。この建物の江戸時代の姿を考える上で貴重な成果が得られました。そこで今回、現地の見学会を開催します。

開催日時 11月28日(土) 午後2時から(小雨決行)

集合場所 市民会館正面玄関前

募集定員 50人(先着順)

募集期間 11月16日(月)～同27日(金)

申込方法 (財)教育委員会文化財課に電話、ファクスで申し込んでください。また、教育委員会ホームページから申し込むこともできます。ファクス・ホームページで申し込む場合は、住所、電話番号、氏名を書いてください。

その他 見学場所には駐車できません。

問い合わせ先 (財)教育委員会文化財課 ☎26-58833番、FAX 26-58899番、Eメール: bunkazai@mx.hikone.ed.jp

今月の納税 固定資産税(第3期) 11月30日(月)までに納めましょう